

## 物件費の最適化 Part 2

令和5年10月31日発行 | 第82号

### はじめに



メルマガ79号<sup>1</sup>で「物件費の最適化」について概要を説明しました。今回のメルマガでは、支出実績の傾向に触れながら、具体的に取組の状況を見ていきたいと思います。

### デジタル化

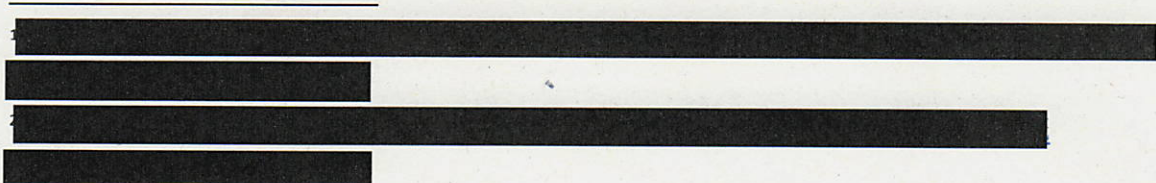
令和5年度予算<sup>2</sup>では、情報システム関連経費が大幅に増額され、物件費予算の中で引き続きトップを占めています。

みなさんの周りでも、デジタル化に向けたディスプレイの整備やLAN回線の増設など、徐々に事務処理環境の変化を感じているのではないのでしょうか？

例えば、主計課では・・・

みなさんにも導入されたM365の活用に合わせて、

1. 資料を視認しやすいようにディスプレイ用モニターアームを整備



2. 既存のLAN配線をハブを使ってミーティングテーブルまで延長
3. ミーティング用の外付けスピーカーを購入

するなどして、デジタル化に向けた執務環境の整備に取り組んだ結果、

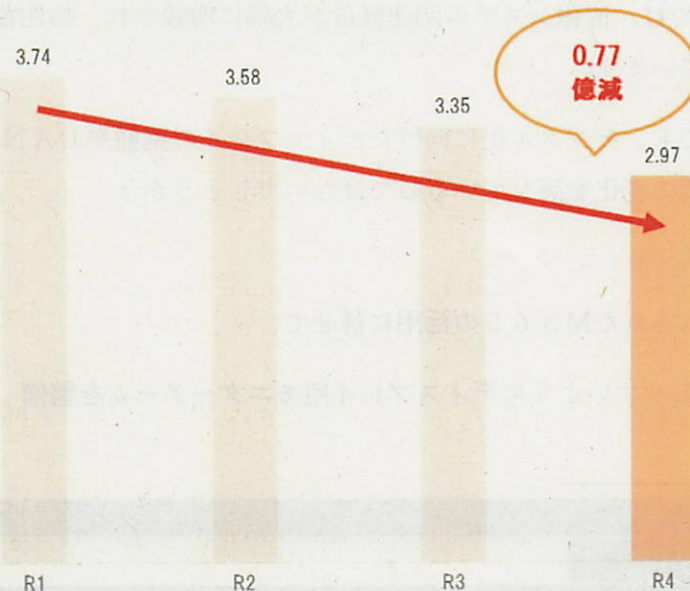
1. 各種会議や打合せ等でのWEB会議の積極的な活用
2. 予算関係資料等の電子データ化による保管スペースの最適化

が進みました。



その効果として・・・

このような変化は何も主計課だけで進んでいるわけではなく、全国的にもデジタル化に向けた環境整備のために、この2年間で約3億円程度の予算がデジタル関連の備品や消耗品に活用されています。必要などころに必要な予算を振り向けるという点では「物件費の最適化」でいうビルドの取組が進んでいる状況であり、その効果は支出実績にも表れ出しています。

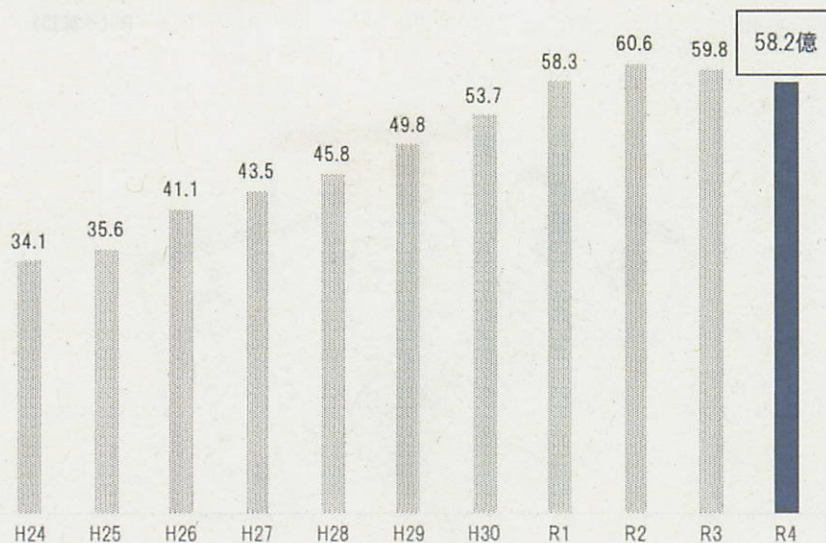


これは、PPC用紙の購入・印刷製本費に関する経費の実績です。物価の上昇傾向が進んでいるにもかかわらず、裁判所全体で減少している状況です。デジタル化の取組を更に進めると、紙ごみの廃棄処分料や複合機の保守経費等の低減効果も今後期待できます。

## 庁舎の維持管理に必要な経費

### 庁舎維持管理等経費

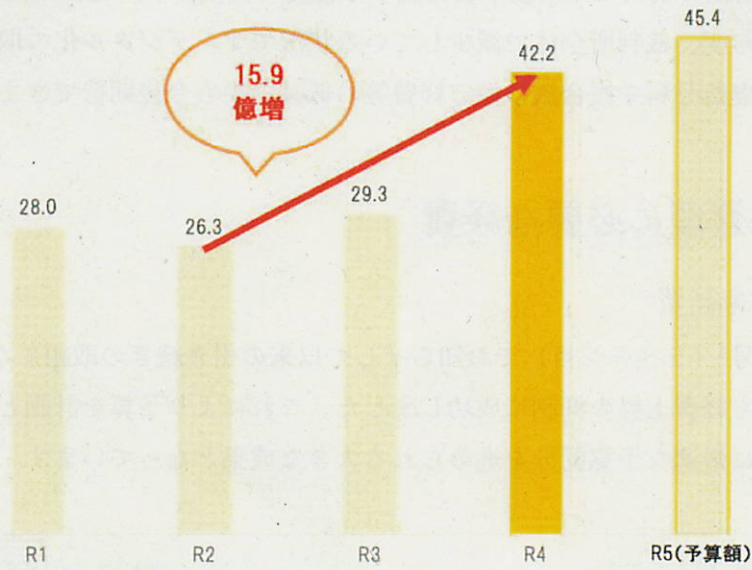
メルマガ76号<sup>3</sup>（5ページ目）でお知らせして以来の引き続きの取組になりますが、令和4年度実績でも経費上昇の抑制に成功しました。これにより予算を計画どおり使用することができ、さらに最適な予算配分を進められる大きな成果となっています。



この取組は、各庁の管理担当者を中心に、執務環境の維持に影響のない範囲で、調達の手続きを徹底する等尽力した結果です。こういった取組が一定の効果を上げていることが、上記のデジタル関連消耗品等の未来への投資に繋がっている側面があります。各種の見直しに際しては、裁判所全体の問題として、ぜひご協力をお願いいたします。



## 光熱水料の実績額の推移



一方で、光熱水料については世界情勢等の影響で増加しています。省エネルギーに向けた取組を継続しつつも、来庁者や職員の健康へ直ちに影響するものであることから、増加分が他の経費に影響を及ぼさないよう、経理局としても特に重点的に予算措置をする必要があると考えています。

## まとめ

今回は、支出実績の傾向に触れながら、「物件費の最適化」について考えてみました。

---

予算の最適な配分を実現するには、デジタル化のような未来への種まき（投資）と庁舎維持管理経費の上昇抑制のような地道な取組といった両輪の検討が不可欠ですし、経理局や会計部門だけで考えていけば実現できるものではありません。

未来の裁判所のためにどこに予算をかけるべきかという点については、引き続き、みなさんのアイデアもいただきながらともに考えていければと思っています。

---



今回は試行的に Microsoft Sway を使って情報発信をしました。

このスライドは以上で終了です。起動しているウェブブラウザを閉じて終了してください。